

本号の特集はリベラル・アーツ
です。
1864年7月に国禁を犯して
脱出した新島襄は1865年7月
にボストンに到着。ハーディー夫
妻との劇的な出会いを経て、10月
末にはアンドーヴァーにあるフィ
リップス・アカデミーへの編入学
を許可されました。アンドーヴァ
ーではヒドゥン夫人に家族同様に
受け入れられ、身をもってアメリ
カ人の習慣や考え方を学びます。
隣に住む神学生フリンント夫妻から

は英語や聖書の教えを受けます。
毎日曜日には教会に出席しました。
また、アカデミーのクラス担任ミ
ス・マツキーンからは自宅に何度
も招かれ、日本やボストンへの旅
程などについてインタビュを受
けました。学校内の授業を越えて、
このような人々から新島は学校で
は学びえないことまで学ぶことが
できました。まさに生きたりペラ
ル・アーツです。カリキュラムな
しの全人教育と言えましょう。
このアカデミー在学中に新島は

同じ敷地内にあるアンドーヴァー
神学校の付属教会で洗礼を受けま
した。彼がもし、アカデミーの年
下の生徒たちの中だけにいたら、
この期間にキリスト教徒にならう
と決意はしなかったでしょう。彼
の受洗は生活の中で展開された全
人教育の成果と言ってもよいので
はないでしょうか。
『時報』にいつも寄稿いただい
ている本井康博先生から、新島の
授洗者を問う興味深い論考が寄せ
られました。この件については新

島本人の証言がありません。本井
先生の推理が躍動する所以です。
特集以外の記事も充実していま
す。同志社各校の現在について多
くを知っていただけるものと思い
ます。
パネルディスカッションに加わ
り講演くださった先生方、筆を
執ってくださいくださった方々に紙
面を借りて御礼申し上げます。
(石川)

●同志社広報委員会小委員会委員

ABC順・○印委員長

- | | |
|------------------------|------------|
| 大学理工学部准教授 | 坂東 敏博 |
| 小学校事務長 | 藤井 邦宏 |
| 大学スポーツ健康科学部教授 | 藤田 昭紀 |
| 女子大学生活科学部准教授 | 平光 睦子 |
| 幼稚園教諭 | 市瀬 ゆかり |
| ○大学神学部教授 | 石川 立一 |
| 大学心理学部准教授 | 石川 信 |
| 大学広報部長 | 岩田 一喬 |
| 中学校・高等学校事務長 | 鎌田 伸益 |
| 大学文学部教授 | 金谷 一道 |
| 大学政策学部教授 | 川井 圭司 |
| 大学社会学部准教授 | 河崎 吉紀 |
| 国際中学校・高等学校事務長 | 貴志 浩行 |
| 法人事務部長 | 北村 幸史 |
| 女子大学総務部広報課長 | 北村 博子 |
| 大学生命医科学部准教授 | 小林 耕則 |
| 大学法学部教授 | 黒坂 淳 |
| 女子大学薬学部教授 | 桑原 幸子 |
| 女子大学看護学部准教授 | 光木 幸子 |
| 女子大学現代社会学部教授 | 三宅 えり |
| 大学グローバル地域文化学部准教授 | 水谷 智 |
| 大学グローバル・コミュニケーション学部准教授 | Peter NEFF |
| 大学経済学部准教授 | 奥田 以在 |
| 女子大学学芸学部教授 | 関口 英里 |
| 法人事務部校友同窓課長 | 田中 裕一 |
| 国際学院事務長 | 谷口 秀隆 |
| 大学文化情報学部准教授 | 津村 宏一 |
| 香里中学校・高等学校事務長 | 内山 栄秋 |
| 女子中学校・高等学校事務長 | 植村 千巧 |
| 大学広報部広報課長 | 植村 葉子 |
| 大学商学部准教授 | 瓜生 夏美 |
| 女子大学表象文化学部教授 | 若本 夏美 |

●編集協力 アルカダッシュ

●同志社時報の申し込み

- ・送料(1冊分200円)のみのご負担でご読いただけます。
- ・お申し込みは、綴じ込みハガキをご利用ください。
- ・宛先 〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入
同志社大学広報課

同志社時報 第141号
編集人 石川 立
発行人 水谷 誠
発行 学校法人同志社
同志社大学広報課同志社時報係
電話 (075) 251-3120
印刷所 日本写真印刷株式会社
2016年4月1日発行

【訂正】
140号に誤りがありました。下記のとおり訂正し、お詫びします。
「お知らせ・同志社女子大学史料室」 上から9行目 ×5月2日(金) ○5月2日(日)